

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	37-g	運営上の事柄や出来事についてご家族様に報告する機会が少ない。	ご家族様により詳しく施設の状況をお伝えし理解や協力を得る。	・運営推進会議の案内文書をご家族様全員に送る。現在はコロナ感染症対策で文書での開催にて、会議内容の文書をお送りする。	1 か月	令和3年度第4回運営推進会議からご家族様全員に文書を送付している。
2	29	鍵をかけることの弊害について理解を深める必要がある。	身体拘束による弊害について理解を深める。	・身体拘束適正化検討委員会内にて、鍵をかけることの弊害についてワークショップを行い、感情や行動を話し合うことで理解を深める。	2 か月	令和3年度12月身体拘束適正化検討委員会にて研修を実施。
3	40-48	運営推進会議にて意見等が出ていないため、サービスに活かしたり、その結果を報告したりする取り組みができていない。	意見をいただく。	・年度末の最終会議において、ご意見書と返信用封筒を送付する。	3 か月	
4	5	すべての職員が介護計画を把握、理解し支援できるように取り組みが必要である。介護記録量が少ない。	介護計画を把握し理解する。介護記録量を増やす。	・介護計画に全員が目を通し把握できたらサインをする(押印する) ・介護計画の更新や変更の際に、毎月のカンファレンスにおいて情報共有する。	12 か月	
5	50-e	年2回、日中、夜間、地震等いろいろな場面を想定し避難訓練を行なっているが、2階で車椅子の方が多くスタッフ間で不安を感じている。スタッフでの限界があり、地域の方の協力をお願いしていく必要がある。	災害時、入居者、スタッフともに安心できるような環境づくり	・避難訓練時に消防署の方に来ていただきアドバイスをいただく。 ・新型コロナウイルスが落ち着いた後、近隣者、自治長等の参加をお願いする。 ・地域防災訓練にスタッフ、入居者様と一緒に参加する。	12 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	37-g	運営上の事柄や出来事についてご家族様に報告する機会が少ない。	ご家族様により詳しく施設の状況をお伝えし理解や協力を得る。	・運営推進会議の案内文書をご家族様全員に送る。現在はコロナ感染症対策で文書での開催にて、会議内容の文書をお送りする。	1 か月	令和3年度第4回運営推進会議からご家族様全員に文書を送付している。
2	29	鍵をかけることの弊害について理解を深める必要がある。	身体拘束による弊害について理解を深める。	・身体拘束適正化検討委員会内にて、鍵をかけることの弊害についてワークショップを行い、感情や行動を話し合うことで理解を深める。	2 か月	令和3年度12月身体拘束適正化検討委員会にて研修を実施。
3	40-48	運営推進会議にて意見等が出ていないため、サービスに活かしたり、その結果を報告したりする取り組みができていない。	意見をいただく。	・年度末の最終会議において、ご意見書と返信用封筒を送付する。	3 か月	
4	1-a	意思疎通が難しく不穏になりやすい。	本人の意向に沿ったくらしができて楽しい生活を送る	・日頃から細かい観察(目、顔の表情、体の反応)を行い、どのような体の動き、声掛けをして落ち着いたかをスタッフ会や申し送りで報告共有する。 ・紙とペンを用意し、筆談で思いを受け止める。	3 か月	
5	50-e	年2回、日中、夜間、地震等いろいろな場面を想定し避難訓練を行なっているが、2階で車椅子の方が多くスタッフ間で不安を感じている。スタッフでの限界があり、地域の方の協力をお願いしていく必要がある。	災害時、入居者、スタッフともに安心できるような環境づくり	・避難訓練時に消防署の方に来ていただきアドバイスをいただく。 ・新型コロナウイルスが落ち着いた後、近隣者、自治長等の参加をお願いする。 ・地域防災訓練にスタッフ、入居者様と一緒に参加する。	12 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った(する)
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った(する)
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()